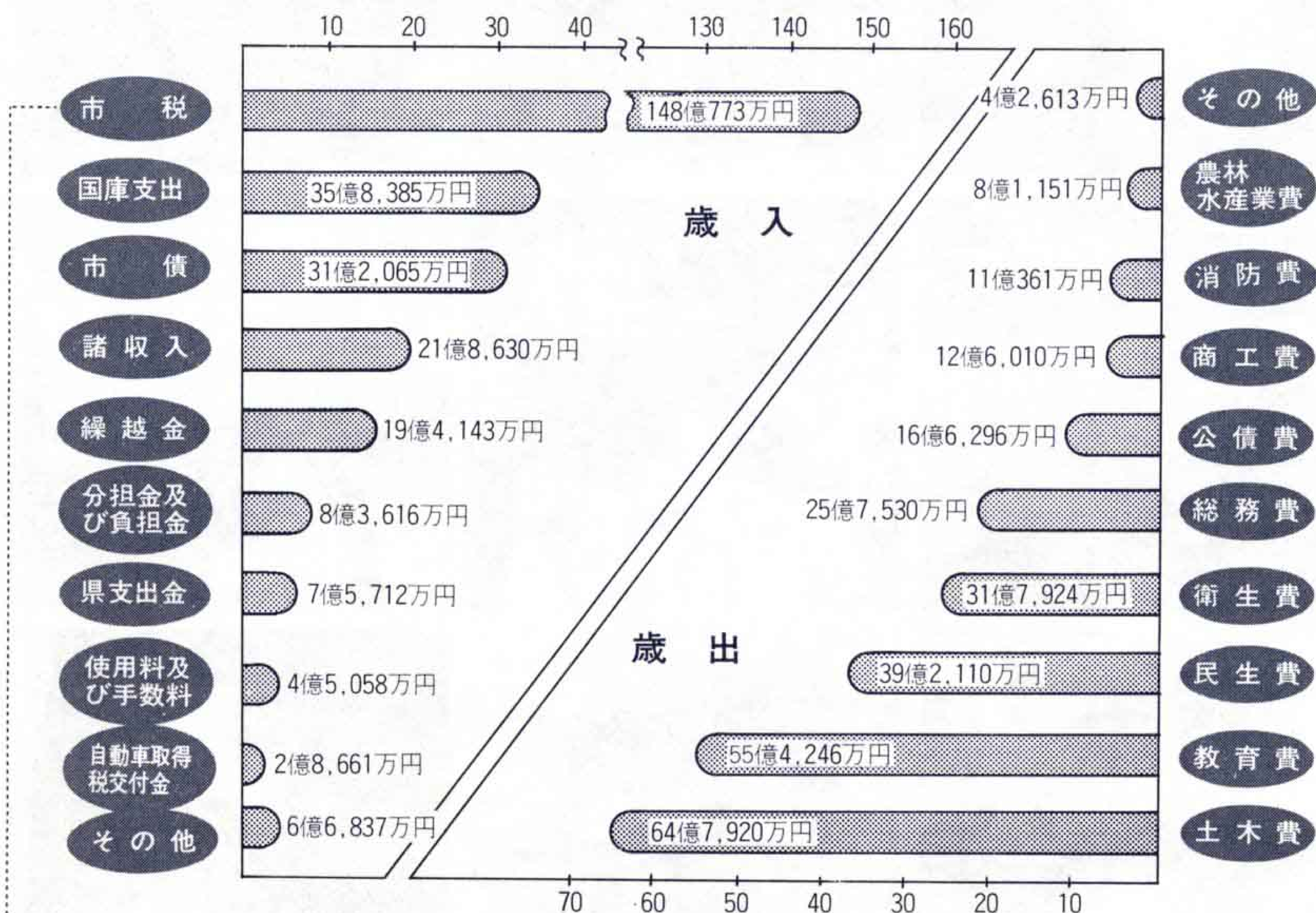


12月1日に市の財政事情が公表されました。その中から昭和53年度の各会計決算見込状況を中心に、わが市の家計簿はどうなっているのでしょうか、まずはその中身をご覧ください。

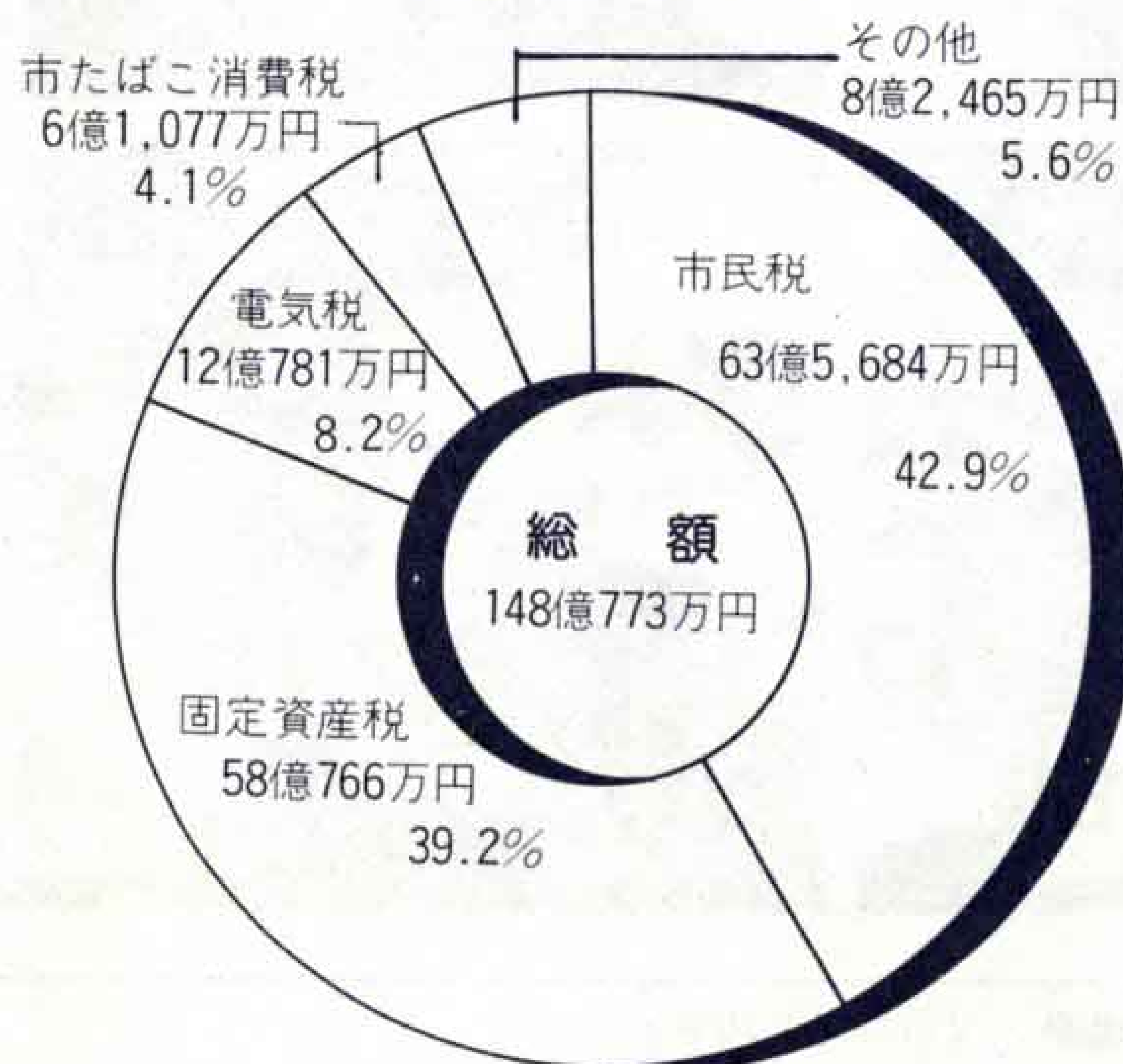


269億円

昭和53年度 一般会計決算見込み



市税のうちわけ



性質別歳出のうちわけ



使った市の台所



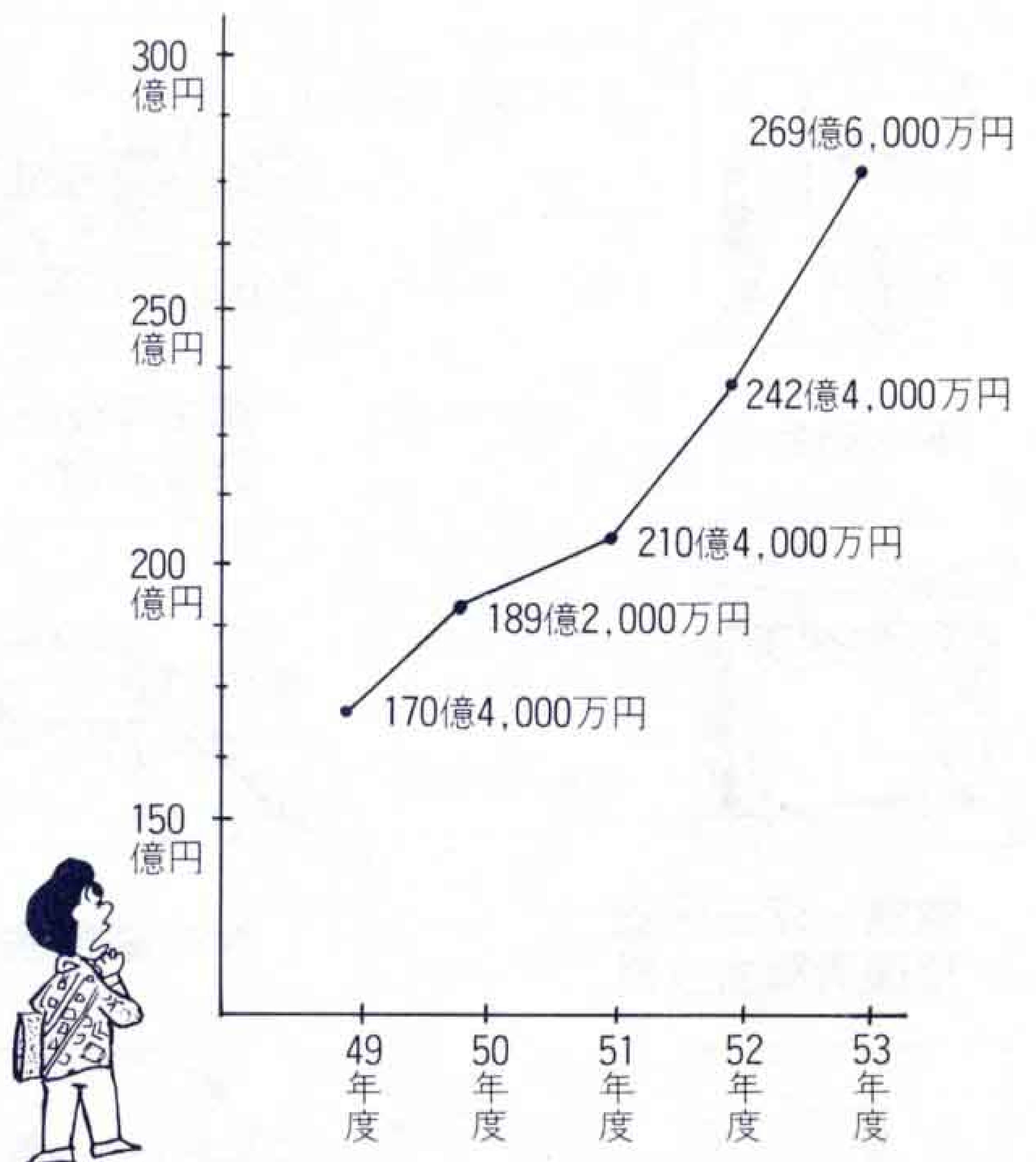
市民1人当りの税負担



1人当りにしますと71,660円納めたことになります。その主なうちわけは次のとおりです。

市 民 税		30,763円
固 定 資 産 税		28,106円
電 気 税		5,845円
たばこ消費税		2,956円
都 市 計 画 税		2,558円
特別土地保有税		993円

市財政の移り変わり（過去5年間歳出決算）



主な使いみち

市民1人当り130,478円を使いました。その主なものは下のとおりです。

土木費		31,355円
教育費		26,822円
民生費		18,976円
衛生費		15,386円
総務費		12,463円
公債費		8,048円



市有財産はこれだけあります

有価証券		2,413万円
土 地		4,710万9,806平方メートル
建 物		44万6,175平方メートル
立 木		15万8,125立方メートル
車 輛		216台
基金の現在高		5億2,258万円

（公営企業財産を除く）
（昭和54年9月30日現在）



昭和53年度 特別会計・企業会計の決算状況

◎水道、病院事業は決算額、特別会計は決算見込み額です。

特別会計

(財産管理等特別会計は)
省略しました

国保会計



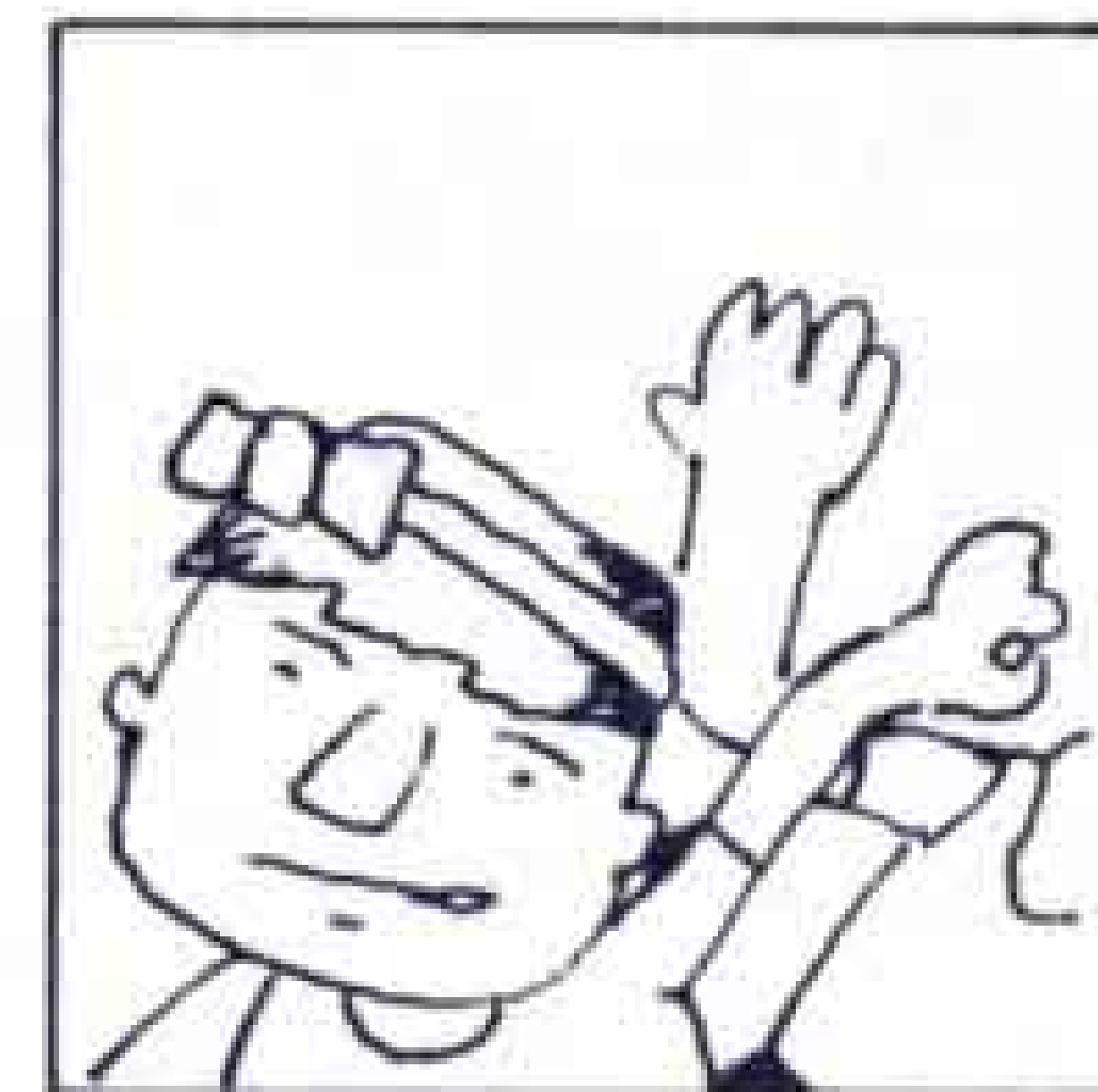
収入額
34億4,650万円
支出額
31億4,782万円

依田原新田区画 整理会計



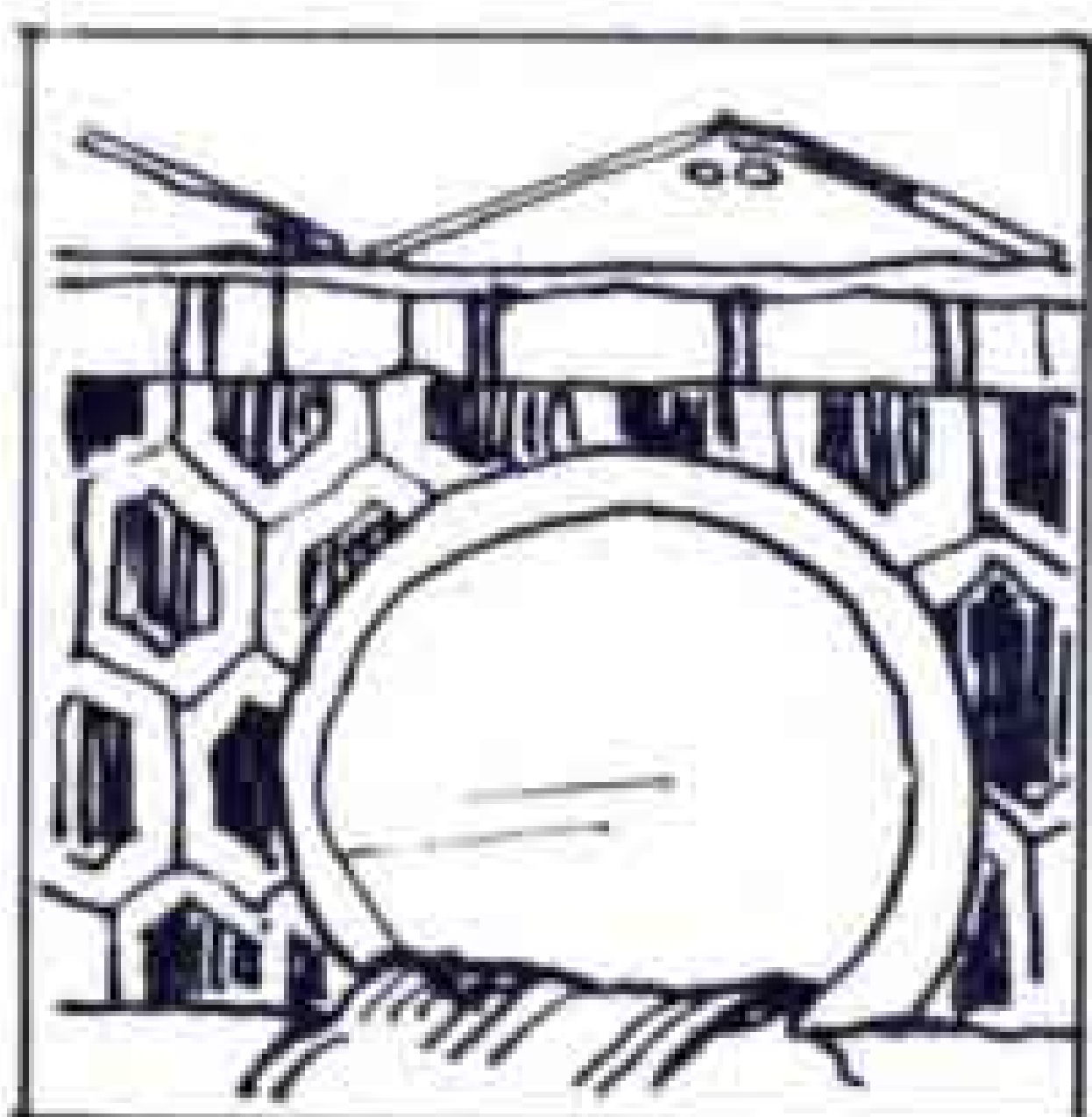
収入額
7億5,009万円
支出額
7億4,496万円

地方卸売市場会計



収入額
6億2,924万円
支出額
6億2,910万円

下水道会計



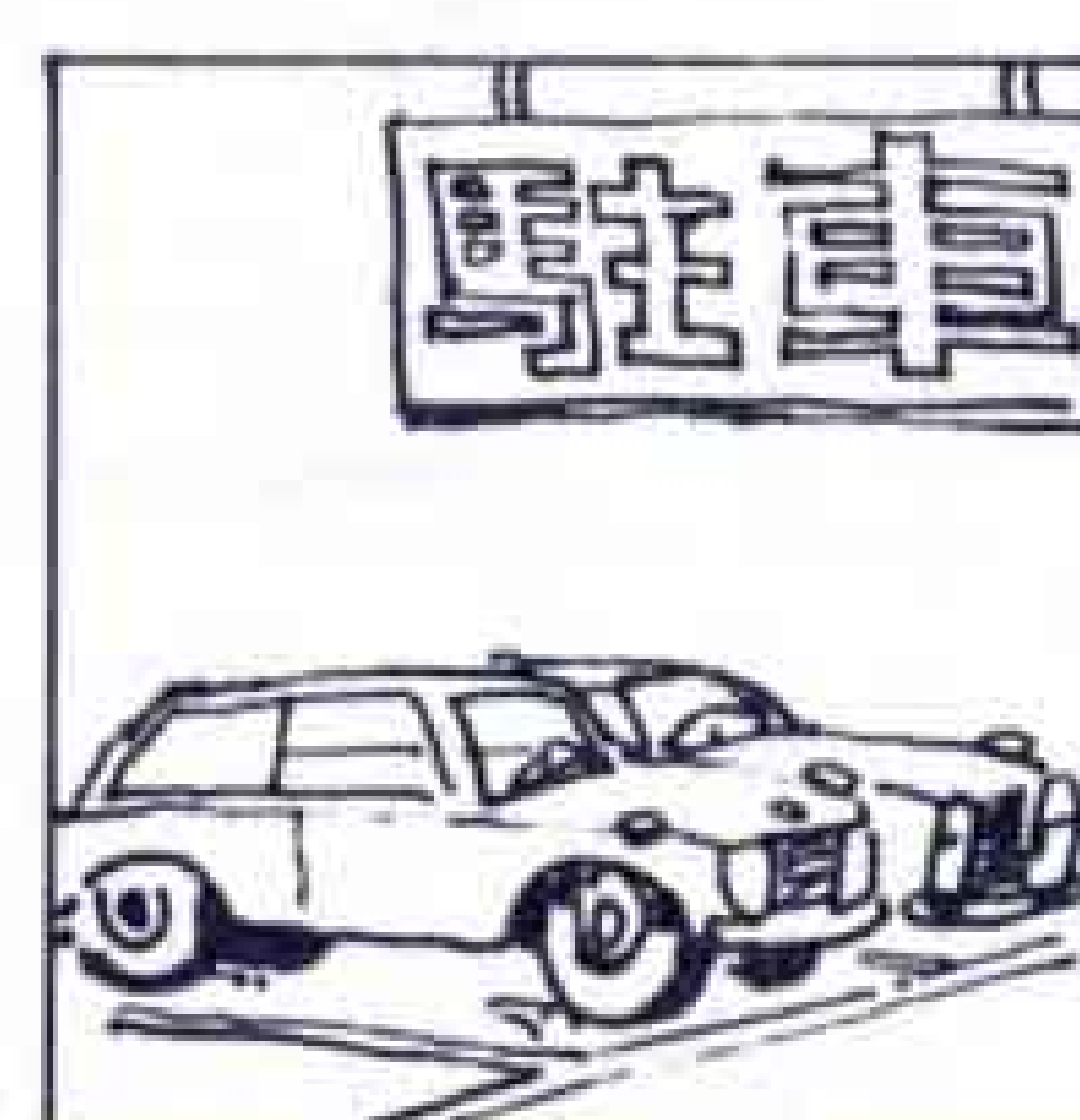
収入額
41億2,387万円
支出額
41億 820万円

富士中部区画 整理会計



収入額
1,418万円
支出額
1,356万円

駐車場会計



収入額
6,890万円
支出額
6,388万円

青島・津田区画 整理清算金会計



収入額
395万円
支出額
233万円

学校給食会計



収入額
8,787万円
支出額
8,787万円

公共用地先行 取得会計



収入額
8億3,324万円
支出額
8億3,288万円

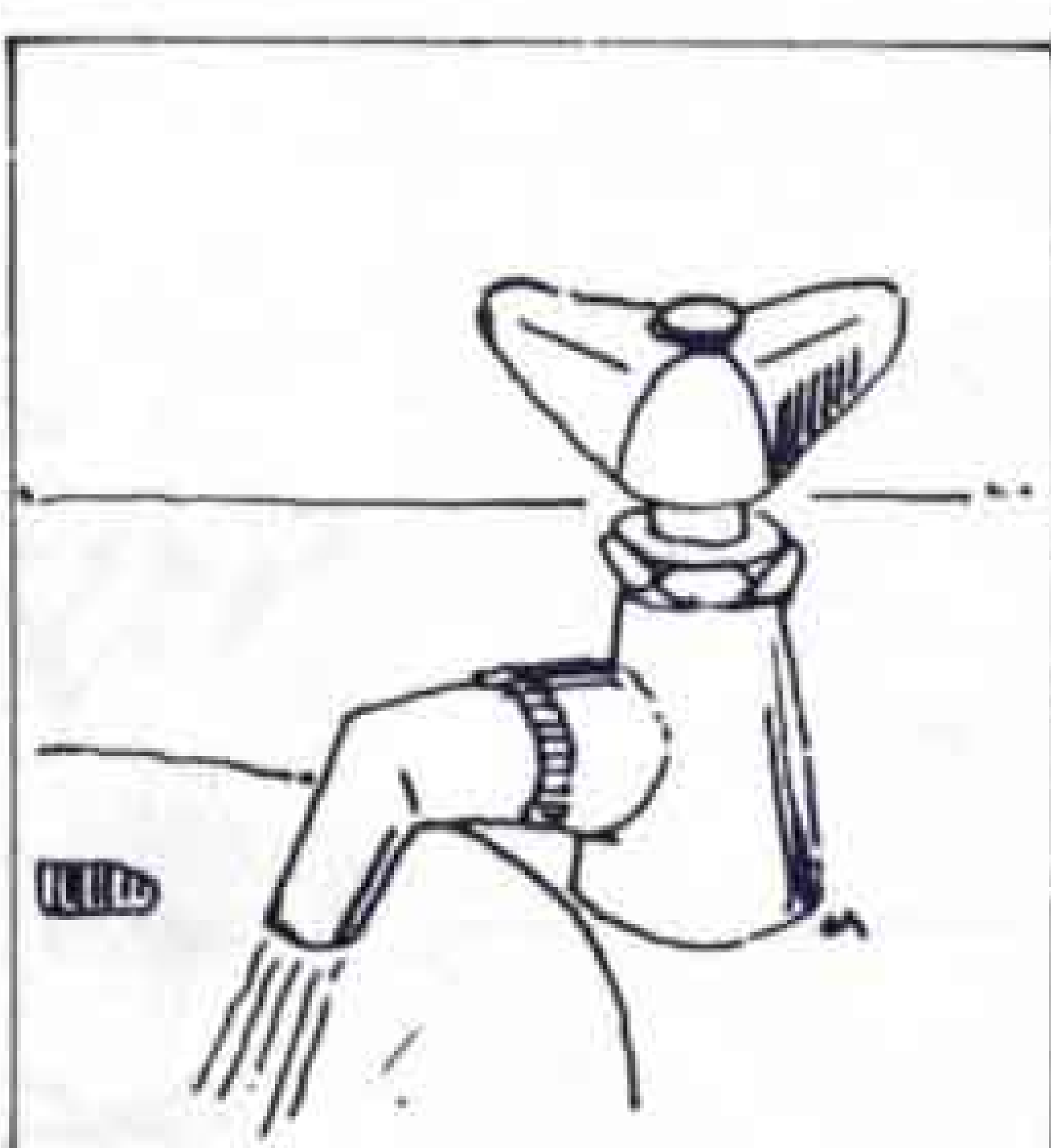
水道事業

収入合計 13億1,119万円
営業収益 11億2,143万円
営業外収益 1億8,945万円
特別利益 31万円
支出合計 13億1,534万円
営業費用 10億4,803万円
営業外費用 2億6,731万円

欠損金 415万円

但し、一般会計よりの補助金
9,800万円が営業外収益の内
に含まれています。

総配水量 3,209万立方メートル
1日平均 8万7,910立方メートル
1日1人平均 503ℓ
(昭和53.4.1~54.3.31)



病院事業

収入合計 27億 847万円
医業収益 24億7,890万円
医業外収益 2億2,356万円
特別利益 601万円
支出合計 26億9,011万円
医業費用 26億2,447万円
医業外費用 6,564万円

利益金 1,836万円

但し、一般会計よりの補助金
8,810万円が営業外収益の内
に含まれています。

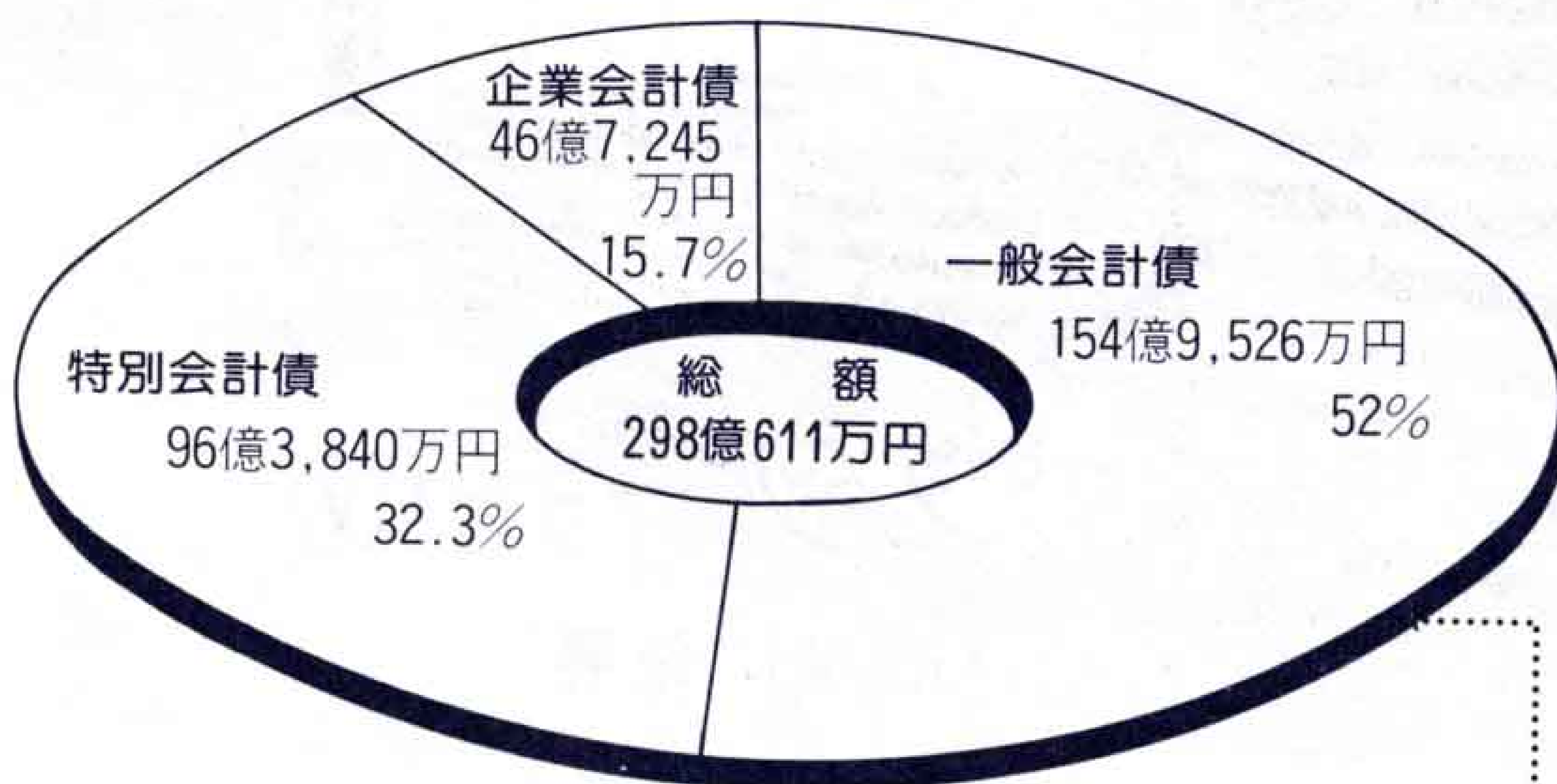
入院患者 9万 831人
外来患者 18万5,744人
外来1日平均 625人
(昭和53.4.1~54.3.31)



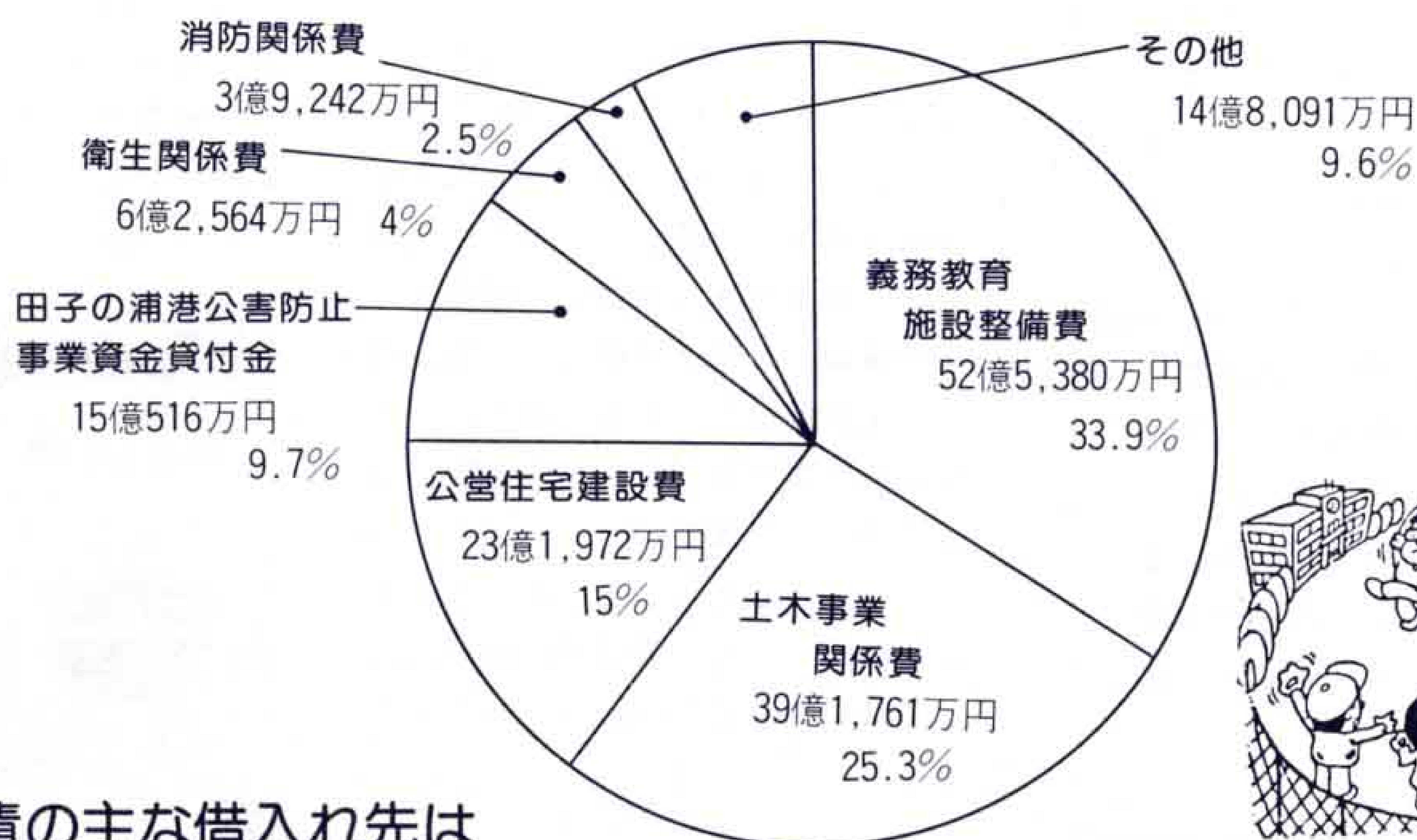
市債の状況

◇市債の総額は………298億611万円

(昭和54年3月31日現在)



◇一般会計債の主なつかいみちは



◇一般会計債の主な借入れ先は

郵政省簡易保険局	56億8,036万円
大蔵省資金運用部	42億3,812万円
市中銀行	26億3,586万円
公営企業金融公庫	6億9,230万円
共済組合	2億8,592万円
その他	19億6,270万円

◇特別会計債と企業会計債のうちわけ

下水道事業	55億4,049万円
水道事業(企業)	40億1,051万円
地方卸売市場事業	24億9,897万円
公共用地先行取得事業	8億1,982万円
依田原新田土地区画整理事業	7億6,991万円
病院事業(企業)	6億6,195万円
その他の事業	920万円

